

2024年度 岡山県社会福祉士会事業報告

2024年度全体総括

本会が1993年に任意団体として設立されてから30年以上の時が経過し、2024年度に法人化15周年、公益法人化5周年を迎えることができました。本会の発展は、人間の尊厳と基本的人権を護るための実践、ソーシャルワーク専門職の発展のために尽力してこられた諸先輩方、様々な関係諸機関の皆様方のご協力の賜物と感謝申し上げます。

私たちが生きる社会は、コロナ禍・戦争・物価高騰・災害の多発・地球温暖化、など人びとの命と暮らしが脅かされる状況が増えています。また、少子高齢化・人口減少・貧困問題・虐待増加・政治不信などの諸課題について、課題解決に向けた本質的な取り組みが順調とはいえません。我々ソーシャルワーカーは『ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である。社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす。』というグローバル定義を実践の拠り所とし、暮らしの困難を有する個人・家庭、さまざまな組織や地域・社会への働きかけをより一層力強いものへと変化させていかなければなりません。

ソーシャルワーク職能団体としてこれらの社会的課題に取り組んでいくために、役員・事務局・委員会が一体となって活動していくことが欠かせません。2024年度は、会員増などを通じた組織活性化に向けた取り組み、4系列（基盤系・人材育成系・権利擁護系・SW系）での活動強化、組織変革の本格的な協議・検討、中期計画（ももちゃんプラン）の推進、などに取り組みしました。

■2024年度に新たに取組んだことを中心として、主要な事柄を以下に示します。

◎組織活性化（会員数増、活動活発化）に関すること

- ・正会員増加に向けた取り組み（若年者入会・年会費無料キャンペーン、合格祝賀会・新入会員歓迎会の実施、会員アンケート実施、会員の声インタビュー実施、など）
- ・未来会員（準会員）増加に向けた取り組み（養成校への働きかけを行うなどし、未来会員が増加しました）
- ・会への定着および退会抑制にむけた取り組み（新入会員オリエンテーションの実施、新入会者の基礎研Ⅰ受講費半額化、会員アンケート実施、会員の声インタビュー実施、など）
- ・若年層に向けたSWの魅力発信（ソーシャルワーカーデー・社会福祉士のお仕事紹介・ラジオ出演などを通じ若年層への発信を強化しました）

◎組織の基盤強化に関すること

- ・公益法人改革への対応（外部理事・外部監事の導入に向けた動きなど）
- ・デジタル化に向けた取り組み（キントーンを導入し、稼働に向け取り組みを開始しました）

◎ソーシャルワーク・権利擁護の進展に関すること

- ・法人後見受任体制強化（権利擁護体制の強化、受任数が増加しました）
- ・能登半島地震被災地への派遣（現地社会福祉士会と連携をはかり派遣を行いました）
- ・岡山県と災害に関する協定の締結（岡山県被災者支援士業連絡協議会の一員として、「防災まちづくり・被災者支援・被災地復興への専門家派遣に関する協定」を締結しました）
- ・パブリックコメントの提出（岡山県社会的養育推進計画について意見を提出しました）
- ・法人化15周年・公益法人化5周年記念講演会の開催（井手英策先生による「分かち合い・頼り合う相利共生社会へ～ベーシックサービスとソーシャルワークで未来を創る～」講演を開催し多数の会員の参加を得ました）